



おごおり

鴨  
鴨  
map

鴨のまち・小郡 一鴨のまちプロジェクトー

市制施行50周年を機に、小郡と結び付きが強い“鴨”を活用し、食文化の継承や新たな特産品開発などに取り組んでいます。



# ● 古文書にみる“小郡と鴨”

## 江戸時代、鴨は税金として使われていた！

江戸時代に記された「鴨上納文書」(井上・黒岩家文書)によると、久留米藩が秋成物(秋を納期とする年貢)、夏成物(夏を納期とする年貢)に加え、小物成(こものなり。雑税)として、魚貝類や藍・紅花など他の藩内特産物と同様に、鴨も税の対象にしたことがうかがえます。

特に鴨については、毎年500~700羽前後の「御用鴨」を現物と代銀で藩に差し出していたことが分かります。

この頃は、雄鴨を「ヨン」、雌鴨を「メン」と呼び、雄鴨の代銀は雌鴨に比べてやや高かったようです。



「鴨上納文書」(井上・黒岩家文書)  
安政4年(1857)

## Q 鴨は、具体的にいくらぐらいだったの？



鴨1羽

当時の金額 円に直すと  
= 2匁6分8厘3毛 → 約3,353円

銀1貫=1,000匁=10,000分=100,000厘=1,000,000毛

金1両(約75,000円)=銀60匁(江戸時代中後期)

銀1匁1,250円 銀1分125円 銀1厘12.5円 銀1毛1.25円

※時代によって銀や物の価値の変動で変わります。

「御用鴨」を毎年500~700羽……約2,347,000円！

一名産何々有之哉之事。但献上之品共二  
一献上之品 半田土鍋 風爐土器  
蜜柑 九年母 海茸 鹽鴨  
一献上之外 鯉 鱒 朱口魚  
時魚 鹿子尾茶 封紙

## 鴨は最高の贈り物だった！

久留米藩の名産・献上品として「蜜柑・九年母(くねんぼ。柑橘類の一種)・海茸(うみたけ。有明海固有種の二枚貝)・塩鴨」とあり、久留米藩九代藩主有馬頼徳の頃に十一代将軍徳川家斉へ鴨肉を塩漬けにして送っていたことが記されています。

「寛政元年久留米領御答書」  
寛政元年(1789年)

# ● 伝統の“無双網猟”



毎年、猟期(11月15日から2月15日まで)になると、江戸時代から続く伝統の「無双(ムソウ)網猟」が行われています。幅約2.5m、長さ約14mの横長の大きな網で、ため池や深田などにまいた餌(青米)のそばに網を設置します。鴨が来たときに遠くから針金で手網を引っ張り、網が広がり鴨に覆いかぶさる、という仕掛けです。※捕獲数は、制限が決められています。

青米を撒いて何日もかけて鴨を餌付けし、次第におびき寄せます。



鴨は警戒心がとても強く、ちょっとした物音や光、人の気配などに気が付くと逃げてしまうので、夕方の内に山に入り200mほど離れたカモトヤ(畳一畳もないほどの見張り小屋)の中で、音を立てずに鴨の様子をうかがいます。真冬の凍てつく寒さの早朝6時。カモトヤで息を潜めてじっとして機会を待ち、いよいよ網被せ。鴨が餌を求めて餌場に向かってくるときに、一気に手網を引きます。わずか1秒、一瞬で捕獲します。



カモトヤ側からの視点(赤で囲まれた部分が無双網の仕掛け)



餌場から見えない所にカモトヤがあります。(赤丸部分)



カモトヤ(見張り小屋)



▲カモトヤにある小さな穴。ここから鴨の様子を伺います。

# ● 小郡の鴨を取り巻く食文化

地元では昔から、甘辛い醤油につけたたれ焼きや、鴨ごはんで食されてきました。程よい触感があり、野生味と奥深い旨味があります。

小郡の鴨は陸がモと言われ、青米などの穀物をたっぷり食べていることから、コクがありまろやかで、臭みがないのが特徴です。

そんな「小郡の鴨を取り巻く食文化」は、令和4年3月に世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきた食文化として、文化庁の「100年フード」に認定されました。



# 天然鴨料理の店

伝統猟法「無双網」で捕獲された天然鴨料理を提供するお店です。

※天然鴨は捕獲・仕入れ状況により完全予約制(3日前など)・順番待ちとなりますので、ご注意ください。



## ① かも料理・季節料理 料亭 さとう別荘

伝統猟「無双網」で捕獲された鴨を使用した鴨料理専門店。味やにおいにクセがなく、上質なコク、旨味が特徴の冬の旬の天然鴨を、国の登録有形文化財のお部屋で庭園を眺めながら愉しめます。



店舗DATA

住所 小郡市  
小郡1281  
TEL 0942-72-3057  
備考 ランチ営業あり



## ② 創作居酒屋 一心

天然鴨が持つ本来の旨味を味わえるよう、なるべくシンプルに味付けした鴨鍋や、天然鴨のタタキが楽しめます。地元で採れた野菜を使い、新鮮な刺身や炭火で丁寧に焼いた焼鳥などが人気のお店。



店舗DATA

住所 小郡市  
三沢2963-1  
TEL 0942-75-9090



## ③ レストラン skip

小郡で初めて天然鴨に出会い、その深い味わいに魅了されたシェフ。“想像を超える美味しさ”の天然鴨を、五感をも満たすほど美しく盛られた数々の料理で楽しませるフレンチ創作レストランです。鴨のメニューは、ディナーでの提供です。



店舗DATA

住所 小郡市  
横隈368-4  
TEL 0942-27-6729  
備考 ランチ営業あり



# あい鴨料理を提供する店

各店の特徴を活かしたオリジナルの一品です。  
様々な鴨の味をお楽しみいただけます。



オリジナル鴨鍋

## 4 ぎおん酒場 一樹一河

カウンターと掘りごたつがある西鉄小郡駅前の隠れ家的な完全予約制のお店です。厳選した合鴨のみを使った鴨鍋は絶品です。

### 店舗DATA

住所 小郡市

祇園1-7-5

TEL 0942-72-0997

備考 予約制



かも蒲焼重

## 5 旬魚季菜 げんき亭

市北部、三国境に位置することから、筑後小郡の鴨、筑前地鶏、肥前の自然鍋の“三国鍋”の他、鴨ラーメンも提供しています。

### 店舗DATA

住所 小郡市

三国が丘7-15

TEL 0942-75-8240

備考 ランチ営業あり



合鴨ロースのピザ

## 6 i girasoli (ジラソーレ)

壁面のアートや木目調でぬくもりのあるカウンターとテーブル席のお店。本場スペインのパルヘ来たかのような雰囲気と料理に魅了されます。

### 店舗DATA

住所 小郡市

小郡187-21-2F

TEL 050-8884-2630



鴨の串焼き

## 8 炭火ダイニング ばん鶏

勢いよく上がる炭で焼く焼鳥やもも焼きで有名なお店。炭火でじっくりと焼いた創作鴨串です。希少なお酒など飲み物も豊富に揃っています。

### 店舗DATA

住所 小郡市

祇園1-10-12

TEL 0942-73-0180

備考 予約制



鴨の照りマヨ♡ピザ

## 9 Brooks

西鉄の線路沿いにある洋食のカフェ。鴨肉を炭火焼きして風味をプラスしたピザは、絶品です。七夕の里小郡にちなんで、ハートの形に♡

### 店舗DATA

住所 小郡市

三沢2434-3

TEL 0942-65-8355

備考 ランチ営業あり



合鴨の香草炭火焼き

## 10 炭火焼肉 まがりや

西鉄小郡駅前にある良質なお肉を七輪の炭火で焼くスタイルの焼肉屋。鴨肉と香草が絶妙なバランスで、塩やタレとは一味違うおいしさが味わえます。

### 店舗DATA

住所 小郡市

祇園1-10-10

TEL 0942-73-2910





スモークした合鴨と  
魚介出汁のフォー

### 7 創作懐石料理 とびうめ

百年前に建造された趣深い店内で、ゆっくりとした時間を過ごせるお店。特産の小松菜を使うなど、農業が盛んな小郡ならではの逸品です。

#### 店舗DATA

住所 小郡市

干潟645

TEL 0942-72-2526

備考 予約制



かき串炭火焼き

### 11 山と串とワイン

自然を愛するマスターがこだわった地元食材の料理やクラフトビールなどが楽しめる、木とモルタルが調和する居心地のいい空間のお店です。

#### 店舗DATA

住所 小郡市

祇園1-2-2

TEL 0942-65-6175





# 鴨にまつわるエピソード



小郡市には、鴨にまつわるエピソードが多数!いくつかをご紹介します。



## 市章(昭和34年制定)の由来は“鴨”

この市章は、鴨にちなんで鳥の形に、漢字の小郡の「小」を図案化したもの。円満を意味する円と、小円の中心から末広がりになった▲(円すい)は財政の発展を、市の中心部の発展をしっかりと抱え込んで、市民の盛り上がる力を意図しています。

♪ 小郡音頭(三番)  
とんでくるくる有明鴨が  
ねぐら慕うて三沢池に  
浮ぶボートに花吹雪ソレ  
小郡りやよかとこ  
みんなの町よ



## 甘木鉄道のルートが現在の形になったのは“鴨”のおかげ!?

昭和10年、大刀洗飛行場引込線建設計画では、「原田～三沢～大刀洗」が当初ルートでしたが、鴨が汽車の汽笛に驚いて寄り付かなくなる恐れから、地元三沢村が鉄道省等に計画反対の陳情をしました。

「基山～小郡～大刀洗」の現ルートになった要因は鴨だけではなく、それだけ当時の人々にとって、鴨は重要な存在だったのでしょ。

## 小郡音頭にも“鴨”が!?

地元の祭りの風物詩といえば、盆踊り。その一つの「小郡音頭」の歌詞にも、鴨が登場しています。



## 味坂小学校にも“鴨”!

味坂(鱒坂)の地名は「アジガモ」に由来するとも言われています。味坂小学校には、平成14年度卒業記念として生徒が描いた鴨の絵があります。

## 子どもも鴨に夢中かも?

埋蔵文化財調査センターの企画展・特別展で無双網を展示しました。見学に来た子どもたちは「大きい!」と興味津々と触れていました。

〈発行〉鴨のまちプロジェクト実行委員会

〈事務局〉小郡市環境経済部商工・企業立地課

〒838-0198 福岡県小郡市小郡255-1 TEL 0942-72-2111 FAX 0942-72-5050

〈資料提供〉小郡市教育委員会文化財課 〈発行年月〉2023年1月